

【育てたい力】 2・3年次における各教科等における育てたい力

○「書く」：主体的に書きたいという意欲を育み、（対話的活動などを通して）自己の意見を深め合える

	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	課題に迫る具体的な手立て	重視すべき単元名等
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・文字や漢字を正しく書くことができる。 ・初発の感想などの中で、自分の言葉で自分の考えを分かりやすく述べるができる。 ・グループ活動を通して、お互いの意見を共有し深め合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に漢字の小テストを告知して実施する。 ・なるべく多くの意見がでるような課題の設定を考える。 ・現状にあったグループ構成を考える。（ジグソー法を考慮して3～4人班） 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字や単語を正しく使える中で、まづ漢字を正しく書けるに焦点を絞る。 ・答えがはっきりと決まってしまうような発問はしないようにする。 ・多くの意見を共有することで、自分の意見を深めさせる。 	<p>※説明的文章でも文学的文章でも可能</p> <p>例：「走れメロス」など</p>
小学校5・6年生	<ul style="list-style-type: none"> ・文字や漢字を正しく用いて活用する。 ・事実と感想、意見とを区別し、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げて表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぞり書きや視写など、丁寧に指導し、正しく使う習慣をつけさせる。 ・文末表現に注意させること、文章のどこを詳しくするとよいのかを判断できるようにする。 ・互いの意見や感想の違いを明らかにしたり、そのよさを認め合ったりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間で丁寧に取り組みせ、小テストを実施して確認、定着を図る。 ・「～だそうだ」「～と思う」など、具体的に文末表現の違いを例示する。 ・小グループなどで話し合ったり文章にまとめたりする。 	
小学校3・4年生	<ul style="list-style-type: none"> ・文字や漢字を正しく書いて活用する。 ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫する。 ・文章を読んで自分の考えを形成し、それを共有して、一人一人に違いがあることに気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぞり書きや視写など、丁寧に指導し、正しく使う場面を設ける。 ・理由や事例を記述する際の表現について指導する。 ・同じ文章を読んでも違いがあることに気付くとともに、他者の感じ方のよさに気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間で丁寧に取り組みせ、小テストを実施して確認、定着を図る。 ・「なぜなら～」「例えば～」など、具体的に文末表現の違いを例示する。 ・ペアや小グループなどで説明し合ったり意見を述べたりする。 	
小学校1・2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・文字や漢字を正しく書くことができる。 ・内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 ・文章を読んで自分の考えを形成し、それを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・字形を正しく捉えられるように、とめ、はねなどを身に付けさせる。 ・時間や事柄の順序を表す語を用いたりする。 ・様々な言語活動を行い、感想や気付きを共有し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間で丁寧に取り組みせ、小テストを実施して確認、定着を図る。 ・「はじめ」「中」「おわり」の順を意識してまとめられるように指導する。 ・互いの思いや考えを受容する雰囲気を作り、感想を読み合ったり交流したり発表したりする。 	